

令和3年5月20日	
資料提供 (海草・有田振興局と同時資料提供)	
担当課	林業振興課
担当者	林、倉岡
電話(直通)	073-441-2991

第34回特用林産功労者表彰の受賞について

日本特用林産振興会が、特用林産の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著な者を表彰している「特用林産功労者」について、以下のとおり県内から2名が受賞されます。

1. 特用林産功労者表彰受賞者

氏名	住所	作目
湯谷 絹子 (ゆたに きぬこ)	紀美野町	原木しいたけ
西脇 直次 (にしわき ただつぐ)	有田川町	棕櫚 (しゅろ)

※功績の内容は別紙1のとおり

2. 表彰の趣旨

日本特用林産振興会^(※)が、多年、きのこ類、木質系燃料、特用樹などの栽培・加工・経営などの分野で特用林産の振興のため献身的な活動を続け、その功績が特に顕著な者を表彰することによって、その優れた努力に報いることにより、一層の特用林産の振興を図ることを目的として実施しています。

(※) 日本特用林産振興会

特用林産関連産業の振興を図り、農山村地域の発展に寄与するために昭和59年10月に設立されました。都道府県を単位とした特用林産振興会(正会員)、特用林産関連中央団体(特別会員)及び賛助会員からなっています。会長 小淵優子 <http://nittokusin.jp/wp/>

3. 表彰式

東京都内で5月下旬に表彰式が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中止されることとなりました。

なお、受賞される湯谷氏、西脇氏には後日、関係町役場から伝達されます。

4. 過去の受賞歴

和歌山県内では過去35名が受賞しています。

※過去の受賞歴は別紙2のとおり

受賞者の功績概要

ゆたに きぬこ
湯谷 絹子 (満 73 歳) 和歌山県海草郡紀美野町

原木しいたけ

湯谷氏は和歌山県北部に位置する紀美野町において昭和 59 年からしいたけ栽培に従事している。氏のしいたけの原木栽培で特筆されるのは、地元紀美野町内産の原木によるしいたけ栽培を基本としていることであり、原木の調達から栽培・収穫までを一貫して紀美野町で行うことで、安心・安全な「湯谷のしいたけ」という評価を得ており、常に品薄の状況である。また、地域おこし活動にも積極的に参画し、しいたけ生産の紹介や地元加工グループによる産品直売など様々な活動に尽力するなど林業振興に多大な貢献をしている。

にしわき ただつぐ
西脇 直次 (満 71 歳) 和歌山県有田郡有田川町

棕櫚 (しゅろ)

西脇氏は、和歌山県中部に位置する有田川町において棕櫚皮の採取、製縄業に従事している。氏は、昭和 45 年から棕櫚皮の製縄業を独自に開始し、棕櫚皮採取業及び棕櫚皮採取の後継者育成に取り組み、企業と提携した林産物の加工品開発及び製造販売も行うことで、棕櫚の消費拡大と地元住民の雇用促進に寄与してきた。また、氏の優れた目利き力により、氏が提供する紀州産棕櫚は企業や一般消費者からの評価が高く、紀州ブランドの確立にも大きく貢献した。この一連の取組は、人口減少が進んだ山村地域における理想的な貢献の形となっている。

和歌山県の特用林産功労者表彰 受賞者一覧表

R3.5.17

No.	推薦 年度	氏 名	市町村名(当時)	品 目	備 考
1	H2	木 下 伊 吉	田 辺 市	木 炭	
2		伊 藤 泰 造	龍 神 村	し いた け	
3		沼 常 義	金 屋 町	し いた け	
4	H3	寒 川 朝 海	美 山 村	し いた け	
5		尾 崎 登	田 辺 市	木 炭	
6	H4	勝 又 文 夫	南 部 川 村	木 炭	
7		保 井 国 一	高 野 町	こうやまき	
8	H5	藤 本 唯 夫	中 津 村	木 炭	
9		浅 里 哲 一	本 宮 町	し いた け	
10	H6	北 敏 英	広 川 町	木 炭	
11		足 川 幸 太 郎	川 辺 町	木 炭	
12	H7	玉 井 又 次	日 置 川 町	木 炭	
13	H8	裏 重 一	かつらぎ町	栗	
14	H9	湯 上 勇	中 津 村	木 炭	
15	H10	森 下 康 弘	中 辺 路 町	し き み	
16	H11	上 野 山 和 秀	有 田 市	し いた け	
17		平 山 幸 男	南 部 川 村	木 炭	
18	H12	下 村 建 一	南 部 川 村	木 炭	
19		木 村 稔	田 辺 市	木 炭	
20	H13	廣 田 喜 八	田 辺 市	木 炭	
21		最 田 育 平	大 塔 村	し いた け	
22	H14	串 野 勝 一	南 部 川 村	木 炭	
23		阪 本 操	那 智 勝 浦 町	木 炭	
24	H15	大 浦 平	有 田 市	し いた け	
25		潮 崎 衛	那 智 勝 浦 町	木 炭	
26	H16	竹 中 孝 雄	有 田 市	し いた け	
	H17	—	—	—	推薦なし
	H18	—	—	—	推薦なし
	H19	—	—	—	和特振休会
	H20	—	—	—	和特振休会
27	H21	平 井 満	印 南 町	わ さ び	
28		原 幸 男	み な べ 町	木 炭	
29	H22	宮 本 有 市	田 辺 市	木 炭	
30	H23	榎 本 秀 夫	田 辺 市	木 炭	
	H24	—	—	—	推薦なし
	H25	—	—	—	推薦なし
31	H26	中 谷 莊 吾	橋 本 市	コウヤマキ	
	H27	—	—	—	推薦なし
	H28	—	—	—	推薦なし
32	H29	森 本 信 夫	高 野 町	コウヤマキ	

和歌山県の特産林産功労者表彰 受賞者一覧表

R3.5.17

No.	推薦 年度	氏 名	市町村名(当時)	品 目	備 考
33	H30	上 野 保 二	有 田 川 町	ブドウハゼ	
34		宮 野 佐 代 次	古 座 川 町	サ カ キ	
35		りら創造芸術高等学校	紀 美 野 町	「ブドウハゼ原 木」の調査	特別賞
	H31	—	—	—	推薦なし
36	R2	湯 谷 絹 子	紀 美 野 町	原木しいたけ	
37		西 脇 直 次	有 田 川 町	棕 櫚(しゅろ)	